



集中企画

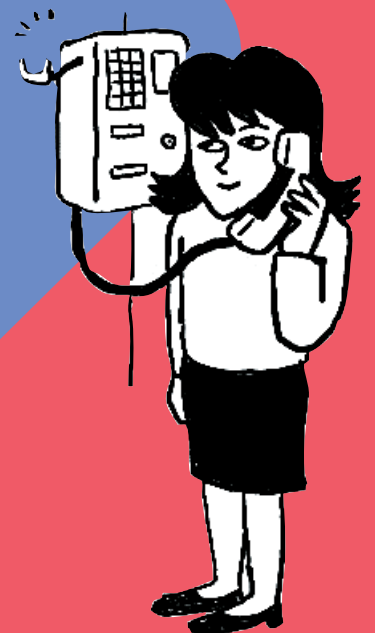
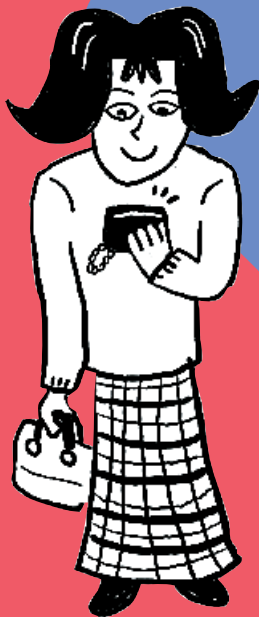
インターネットで
電話 FAX どこへでも

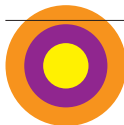
いとうくにお
+
インターネットマガジン編集部

Photo : Nakamura Tohru
Illust : Hasegawa Takako



とどけ メッセージ!



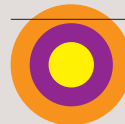


仕事や遊びの基本、それがメッセージ!!

個人と個人をつなぐメッセージは、コミュニケーションにとっては欠かせないものだ。私たちは常に誰かとメッセージをやり取りすることでコミュニケーションをとり、日常生活を送っていると言ってもいい。しかしそんな中でも、誰かと連絡をとろうとしたときに、「でも、あの人の家、FAXないからなあ...」とか「彼はメールアドレス持っていないしなあ...」などの理由で連絡がとれなかったという経験を持つ人は少なくないだろう。現代社会において、他人とのコミュニケーションは不可欠であり、そのための連絡法としての通信手段は、すでにいくつもある。手紙

や電話は一般的だが、このほかにもFAXや電報、電子メールといった方法で、私たちは他人とのコミュニケーションをとっている。しかし、こうした通信というものには、当然のことながら送信者と受信者が存在し、互いが1つの同じ通信手段でコミュニケーションすることが「約束」されている必要がある。電話を設置して電話番号を取得する、インターネットに接続して電子メールアドレスを取得するといったことが、この「約束」に相当する。そして、手紙で文通を重ねる人同士を「ペンフレンド」、ポケットベルで連絡を取り合うだけの他人のことを「ベルとも」と呼ぶように、ある通信手段で継続するコミュニケーションは、それを利用する人たちをして、コミュニティを形成させていく傾向が強い。そうしてできたコミュニティが、たとえば「ペン

フレンド」と「ベルとも」の組み合わせのように、他の通信手段を使うコミュニティと頻繁に連絡を取り合うことはほとんどなく、限られたメンバーでコミュニケーションを続けることが多い。本来、通信手段というものは、広く多くの人と交流するためにあるものだが、実際はヘビーユーザーになればなるほど、その交流範囲は狭いのではないだろうか。

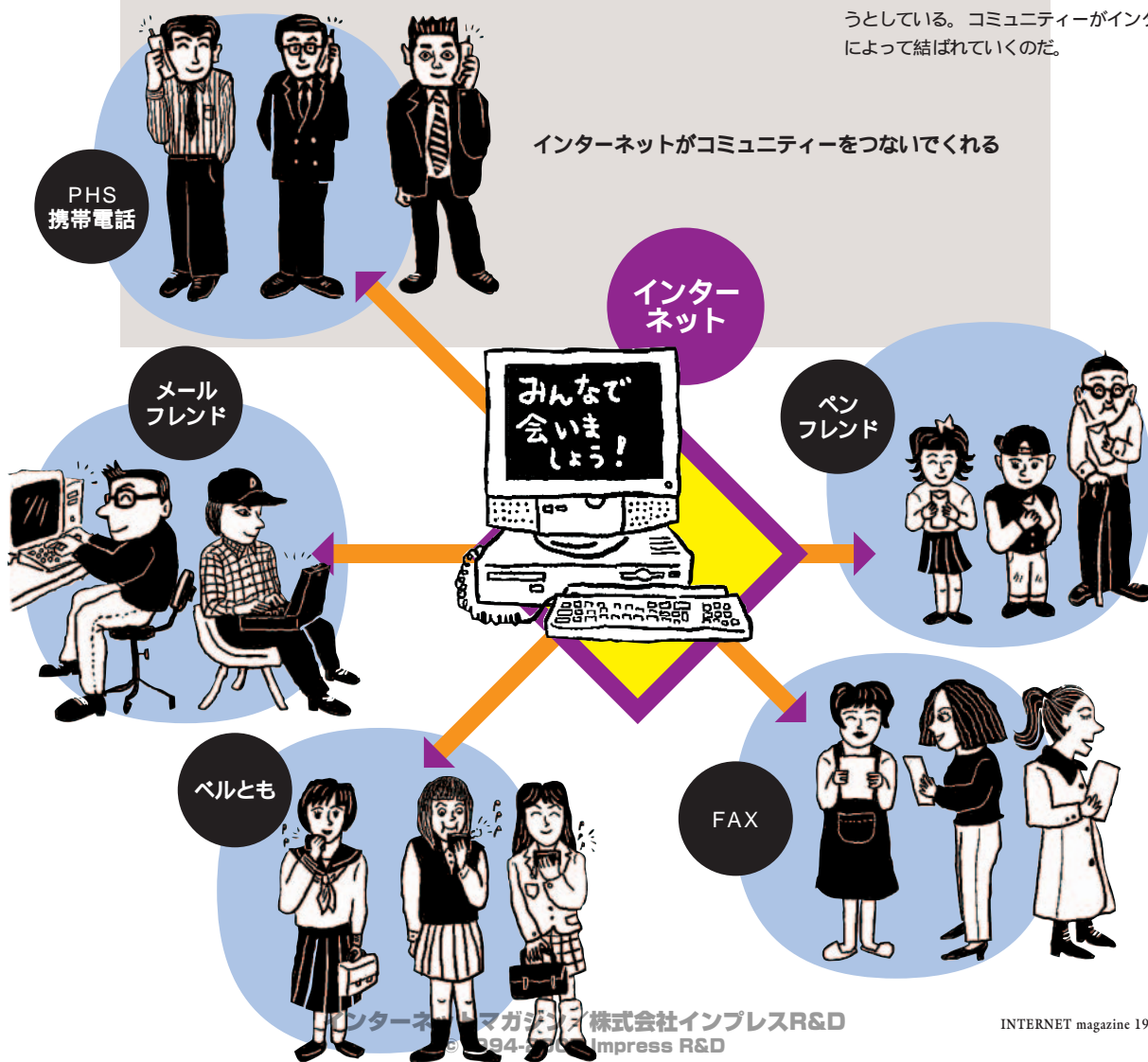


「ペンフレンド」や「ベルとも」が「メールフレンド」にもなる!!

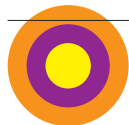
しかしインターネットの技術やサービスの進歩によって、このようなコミュニティを形成する、異なる通信手段同士の相互乗り入れが開始された。そうしたサービスを利用することで、手紙を書くという作業なしでインターネットから手紙を送信したり、インターネットからFAXを送信したりすることができるようになった。そのためインターネットのメールしか使っていなくても、手紙を書かない人でも、手紙を使って「ペンフレンド」を作ることが可能になった。電子メールの「メールフレンド」にメールを送るのと同じ要領で、ポケットベルやPHSなどにメッセージを送ることもでき、「メールフレンド」や「ベルとも」などのコミュニティの垣根が取り払われようとしている。コミュニティがインターネットによって結ばれていくのだ。

誰もが電子メールを使えるわけじゃない...

それでもメッセージは届けたい!!



では、インターネットで手紙やFAXなどが送れるようになると、われわれの生活はどのように便利になるのだろうか。



パソコンなくてもメールがOK!

コンピュータ以外の相手にメッセージを届けることができるようになると、電子メールでコミュニケーションをとる機会が多い人にとっては、メッセージを送信できる対象が増え、コミュニケーションの幅を広げるチャンスが増すことにな

る。また、手紙しか使っていない人も、インターネットを使って、これまで連絡すら取れなかった相手とコミュニケーションできるようになるだろう。

電子メールをPHSやポケットベルなどに送れるということは、電子メールをやるならパソコンが必要という常識を覆すことにもなる。つまり、PHSやポケットベルで電子メールを受信することもできるし、メールの内容を電話から音声で確認できるサービスを利用することもできる。そのため、外出先でメールを確認するためにノートパソコンを持ち歩く必要はなく、受信手段はPHSやポケットベルなどの中から、自分に合ったものを選ぶことができるようになった。

インターネットならこんなに便利!

どこでも誰とでも メッセージのやりとり



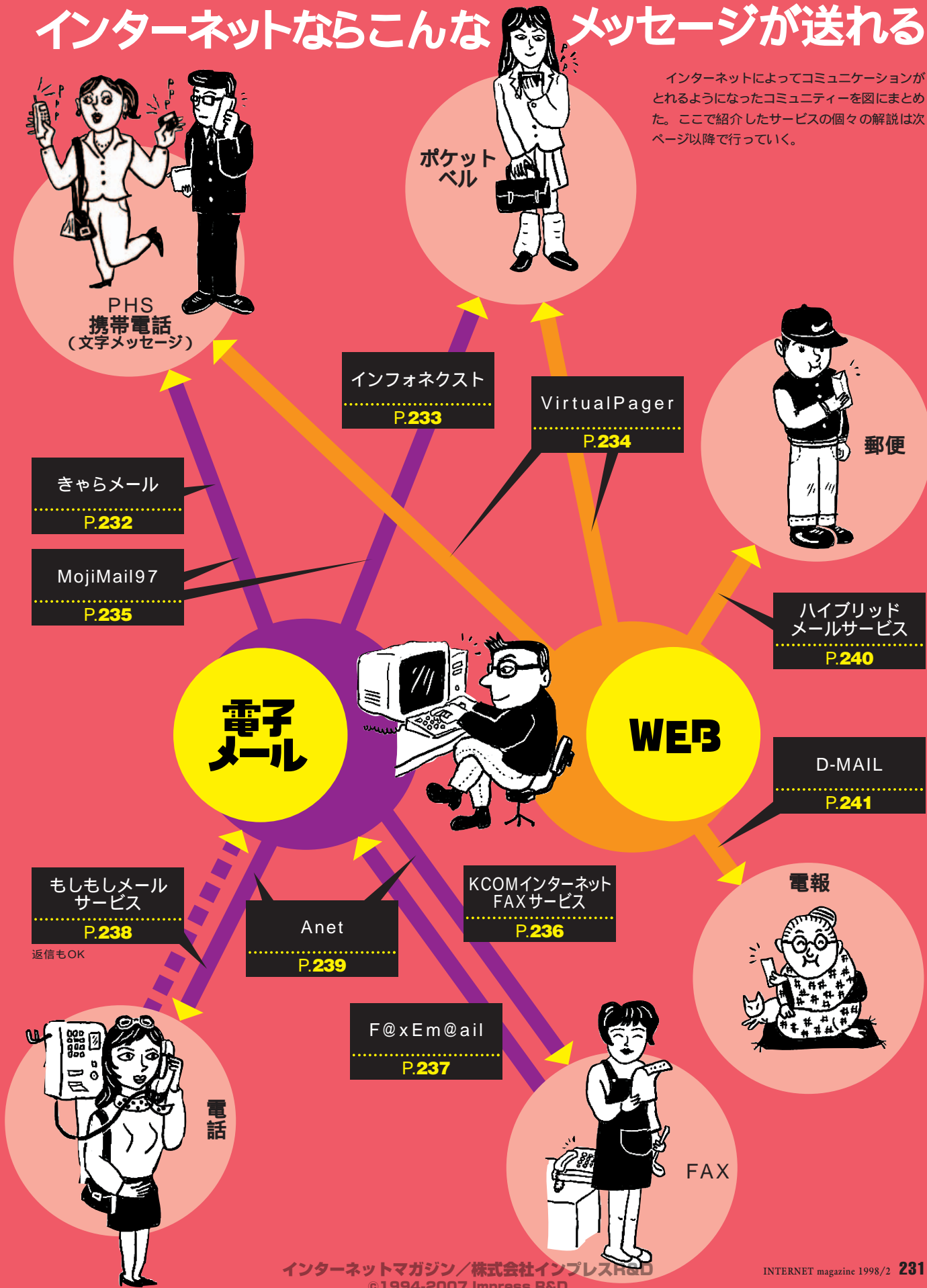
費用や手間もほとんどかからない

今回紹介するサービスには、従来の通信方法と比べて費用や手間がかからないものが多い。PHSやポケットベルなどにメッセージを送るには、これまでは文字変換表とにらめっこしながらプッシュボタンを押していたのが、コンピュータのキーボードでメッセージを作成できるようになる。企業のオフィスでFAXを使う場合には、FAX機があるところまで歩いて行く必要があったが、インターネットで送ることができるのであれば、デスクにあるパソコン上で処理できる。さらに、国際FAXの場合は通信費もバカにならないが、インターネットを使うことで通信コストを下げることもできる。また、郵便を送るには切手や封筒などを用意する必要があるが、インターネットから郵便を送るのであれば何も必要ない。郵便料金をクレジットカードで決済できることを便利だと感じる人も多いはずだ。

とどけ
メッセージ!

インターネットならこんなメッセージが送れる

インターネットによってコミュニケーションがとれるようになったコミュニティーを図にまとめた。ここで紹介したサービスの個々の解説は次ページ以降で行っていく。



10人までのPHSに同時にメールが送れる!

きゃらメール

NTT パーソナル

PHSでインターネットの電子メールが受信できる! NTT パーソナルの文字メッセージサービス「きゃらメール」がインターネットからも送れるようになり、通常のメールソフトでメッセージを送れるので操作も簡単だ。

PHSのディスプレイに電子メールが!

PHSでのやり取りは女子高生の専売特許だと思っっているアナタはもう古い! これからはPHSがオジサンたちの必須アイテムになる?! なぜなら今やビジネスでは当たり前になった電子メールが、PHSで受信できるんだから! そんなサービスが「きゃらメール」のインターネットサービスだ。通常のメールソフトから最大10人までのPHSへ同時にメッセージを送ることもできる。メッセージがすぐに相手に届くので、シグナル(信号)として使うことで、ミーティングの時間連絡や友人との待ち合わせなどのグループ行動にはもちろん、個人的なちょっとした言付けにも利用できる便利なサービスだ。

返答先の番号も送れる!

メッセージの作成は普通の電子メールとほぼ同じで、メッセージ本文の前にMSG=を入れるなどの簡単な約束ごとしかないのが簡単だ。送信先のPHS番号は、アドレスの中に入力する方法と、本文の中に入れる方法とがある。メッセージと一緒に返答先の番号も送れるので、本人が外出中の「さんが連絡を欲しいそうです」などといった連絡事項をきゃらメールで送るときに、相手の電話番号をメッセージと一緒に送ると親切だ。メッセージを受信するとPHSのディスプレイに受信通知が表示される。受信したメッセージを確認するには、PHSから専用番号でメッセージセンターにアクセスしてメッセージを受け取ることになる。

めざせ! 送り上手 PHS編

「69文字では何にも送れないよ」と言う前に、この69文字という「きゃらメール」のメッセージの文字数を上手く利用することを考えてみよう。

かなが送れるようになる以前のポケットベルで、女子高生が数字でメッセージをやり取りしていたのはご存知だろうか、あのメッセージ送信法には、文字数を減らせるというメリットがある。というのも、メッセージをきゃらメールでは「」(濁点)や「」も1文

字としてカウントされてしまうので、10105(イマドコ?)や105216(ドコニイル?)などといった「女子高生ポケベル用語」を使えば、メッセージの文字数を少なくすることができる。

また、頻繁にメッセージをやり取りする相手とは、お互いに理解できる省略語を決めておくのもいいだろう。とくに、自分や相手の名前などは、メッセージ性が低いわりに文字数を使ってしまふ。241(フジイ)や5884(コバヤシ)、24(ニシ)などと略してしまふのもワザだ。

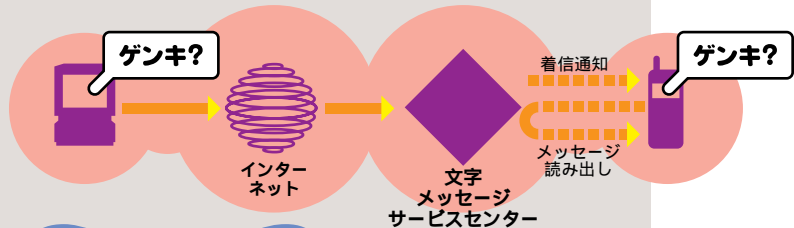
Q&A

きゃらメール

このサービスはきゃらメール契約をしたPHSでしか利用できない
サービス料金...月額100円、きゃらメールの読み出しには1通あたり5円が必要

送信可能文字...69文字までのカタカナや英数字、ひらがなやアルファベット小文字はカタカナや大文字に変換される
問い合わせ...0120-898956

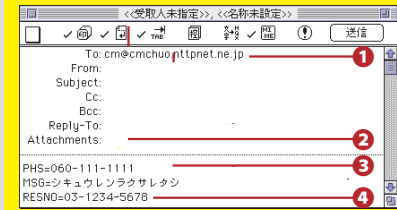
URL...<http://www.nttphs.co.jp/chuo/index.html>



使ってみよう!

このサービスを利用するには「きゃらメール」の契約をしなければならない。これからPHSを購入する人は購入時に手続きをすといいたいだろう。

10人まで同時に送信する方法



サブドメインはグループ各社で異なる相手のPHS番号(複数ある場合はカンマでつなく)
送りたいメッセージ
返答先番号
「Subject」欄は記入不要、「宛先」や「TO」の欄に
@cmchuo.ntt.net.ne.jp というように相手のPHS番号を入力すれば、本文中に相手のPHS番号(PHSNO=)を入力する必要はない。

サブドメイン一覧

- パーソナル中央 @cmchuo.ntt.net.ne.jp
- パーソナル東北 @cmtohoku.ntt.net.ne.jp
- パーソナル東海 @cmtokai.ntt.net.ne.jp
- パーソナル関西 @cmkansai.ntt.net.ne.jp
- パーソナル中国 @cmvhugoku.ntt.net.ne.jp



ポケットベルに漢字交じりのメールが送れる!

インフォネクスト

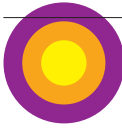
NTTドコモ

最近のポケットベルはスゴイ! 数字やカタカナだけでなく、漢字やひらがなだって送れるし、インターネットからポケベルにメッセージを送ることだってできるのだ!



なんてたって
漢字がOK!

ポケベルでのメッセージ送信というと、「4649 (ヨロシク)」や「10519 (ドコイク?)」といった一見意味不明のポケベル用語に恐怖感を持ってしまおうジサマ方も多いのではないだろうか。でも今ではそんな心配は不要! NTTドコモのインフォネクストシリーズなら、漢字やひらがな交じりのメッセージを、なんとインターネットからでも送ることができる。キーボードでメッセージの作成ができるということは、送信する側にとっても使いやすく便利なサービスだと言える。



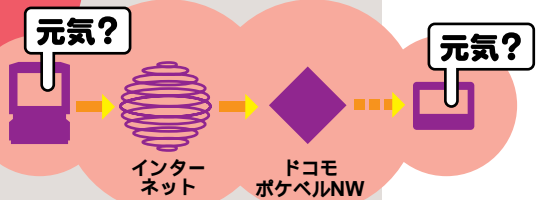
ポケベルは
プッシュメディアだ!

送信は、普段使っている電子メールソフトからできるので簡単だ。NTTドコモのウェブ (<http://www.nttdocomo.co.jp/>) にはメッセージ送信フォームがあり、必要事項を入力するだけで送信することもできる。受信する側は通常のポケベルのメッセージと同じだ。メッセージがNTTドコモのサーバーに届くと、すぐにポケベルに向けて発信される。メールが来るたびに手元まで届けられるのはポケベルならではの、この特性を活かした時事ニュースや天気予報などの情報配信サービスもある。まるでプッシュメディアを使っているようだ。

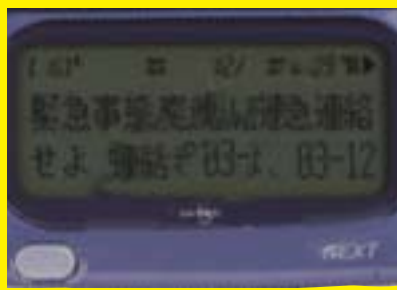


DATA

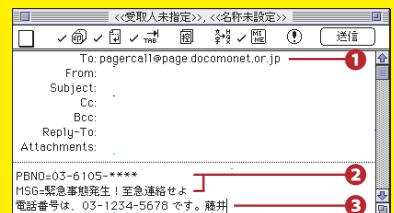
インフォネクスト
サービス価格... 1,800円 (呼び出し50回まで、以降200円/10回) より
対応機種... インフォネクストシリーズ
サービスエリア... 関東甲信越
文字数... 100バイト (全角50文字) 以内
問い合わせ... 0120-377-360
URL... <http://www.nttdocomo.co.jp/>



使ってみよう!

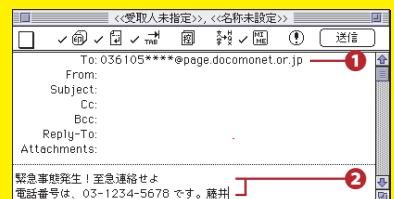


メールソフトの新規メール作成画面 エラー時の通知メールあり



このアドレス宛てにメールを送る
送信先のポケベル番号
メッセージ本文
Subjectは必要ない。

エラー時の通知メールなし



相手のポケベル番号
メッセージ本文
Subjectは必要ない。

めざせ! 送り上手 ポケットベル編

ポケットベルやPHSは、常に所有者の手元にあるのが普通で、メールの受信者がサーバーにアクセスして初めてメッセージの着信が確認できるインターネットの電子メールと違い、受信者の意志に関わらずメッセージの着信が通知される。急用や必ず伝えたいメッセージを電子メールで送るときには、ポケベルはPHSのサービスと併用することで、着信のシグナルを手元に伝えることができる。

ニフティサーブがポケベル対応の新サービス
ニフティサーブは12月24日から、ポケットベル向けの「電子メール着信通知サービス」

を開始する。新サービスはNTTドコモのネクストサービス対応ポケベルを対象としたサービスで、これまで提供してきたポケットベルの着信通知サービスが関東甲信越・東海・近畿地方に限定されていたのに対して、NTTドコモの協力を得ることで全国的なサービスの提供が可能になった。

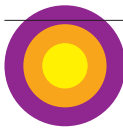
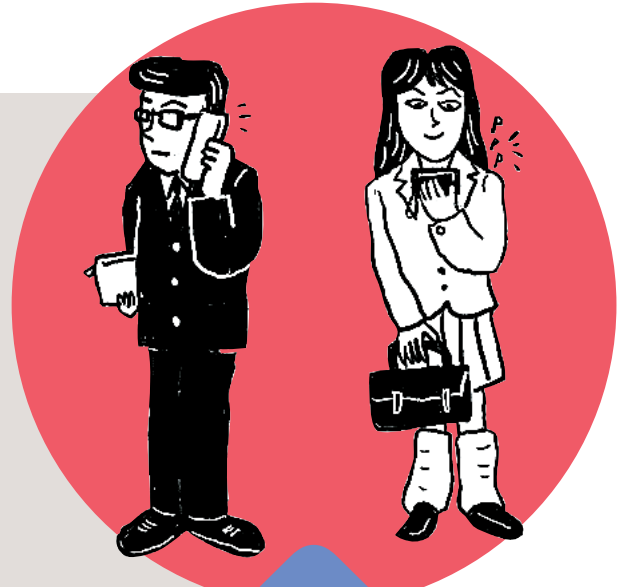
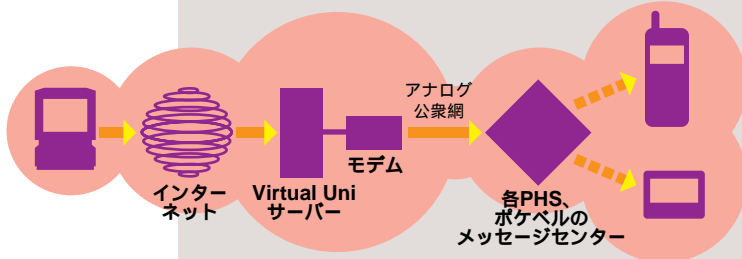
サービス利用料金は、設定料金100円/月、呼び出し料金10円/回。なお、1998年3月31日までは、ネクストサービス対応ポケベルを対象としたサービスについては「設定料金」と「呼び出し料金」を無料で提供する。
問い合わせ... 0120-508-502 (一般)
0120-22-1200 (会員)
URL... <http://www.niftyserve.or.jp/release/>

ウェブからPHSやポケベルに メッセージを送信!

VirtualPager

ユニデン(株) VirtualUni

VirtualPagerは、ホームページ上からPHSやポケベルに文字メッセージを送信するサービスだ。WWWブラウザ上でメッセージの作成ができるので、メールソフトなどのメッセージソフトをインストールする必要がない!



WWWブラウザから PHSやポケベルに!

VirtualPagerは、WWWブラウザで入力したメッセージをPHSやポケットベルに送信するサービスだ。メールソフトの設定などが必要ないので、外出先などでもWWWブラウザが使える環境さえあれば利用できる。

「外出中にメッセージを送信したくなくて、さすがに他人のパソコンのメールソフトを使わせてもらうのはちょっと...」という人でも、たいていの人にはWWWブラウザくらいは使わせてくれる(?)ので、VirtualPagerなら他人のパソコンを使ってメッセージの送信ができる。ただし、相手にずうずうしいと思われないう、ほどほどに...。



ポケベルで スケジュール管理を!

メッセージの作成は、ウェブ上で必要事項を入力するだけなので操作も簡単。Virtual Pagerは送信日時を指定することもできるので、忘れそうな連絡事項は時間指定で送信しておくといだらう。自分宛てにメッセージを送信すれば、「10時からミーティング」などといったスケジュールを時間どおりに受け取ることもできる。うまく使えばスケジュールの管理をポケベルやPHSでできるようになる。ただし、サービス利用料金は1件あたりについてかかるので注意しよう。このサービス料金に、各PHSやポケベルのサービス料金がプラスされる。

DATA

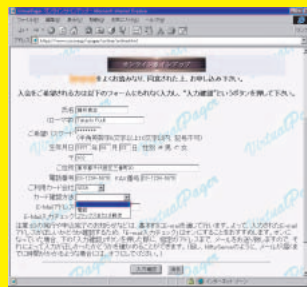
VirtualPager
サービス料金...基本料金3000円(1年間)、15円(1回) アステル北海道、アステル四国への送信は25円(1回)、価格は消費税別

対応サービス

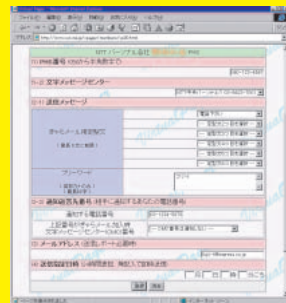
PHS
きゃらメール(NTTパーソナル)
モジトーク(アステル)
ポケベル
日本国内のポケベルサービス事業者の各機種
使用できるクレジットカード... NICOS、JCB、
VISA、MASTER、AMEX、
問い合わせ... 03-5541-8280
URL... <http://www.vuni.ne.jp/vpager/>



使ってみよう!



VirtualPagerはウェブ(<http://www.vuni.ne.jp/vpager/>)から会員登録を行う。お試し会員に入会すると、無料で3回までサービスを利用できる。クレジットカード番号は電話かFAXでVirtualUniに連絡する。登録終了後、ユーザーIDがメールで送られてくるのでメモしておこう。



必要事項を入力して送信すればOKだ。セキュアサーバーでデータを暗号化する「セキュアモード」も用意されている。メッセージが送信される時間を指定することもできる。メールアドレスを入力しておけば、通信報告がメールで届けられる。

「ピッポッパッ」をソフトが代行 PHSやポケベルにメールを かんたん送信!

MojiMail97

エキスパートマグネティックス(株)

いちいち相手のPHSやポケベルの機種を考えながら、女子高生のように「ピッポッパッ」とプッシュホンを押すのは至難の技だ。MojiMail97は、文章を文字列に自動変換してPHSやポケベルに送ってくれるメッセージソフトだ!

もうプッシュホンなんて 恐くない!

みんなと連絡をとりたいんだけど、それぞれが持っているPHSやポケベル、携帯電話がバラバラで、いちいちプッシュホンのボタンでポケベルにメッセージを送ったりするのも大変だ...。そんなときにオススメなのが、このMojiMail97だ。モデムの発信音を利用してPHSなどに文字を送るので、一般電話のプッシュホンから送ることができるすべての機種にメッセージを送ることができる。女子高生がプッシュホンのボタンを押してメッセージを送る作業を代わりにやってくれるソフトだ。TAやPIAFSカードからでは送信できないが、なんでもかんでもパソコンからやりたいというワガママな(?)人にはうってつけのソフトだ。



相手に合わせて文章を 自動変換してくれる!

MojiMail97はPHSなどへのメッセージ送信専用ソフトだけに、普通のメールソフトにはない便利な機能がある。メッセージ作成は、相手のPHSやポケベルなどの機種をメニューで選択し、文書入力欄に送信したいメッセージを入力する。そうすると、選択された機種に見合った文字列にMojiMailが自動変換してくれる。機種ごとの文字変換表を見ながら入力しなくていいのはとても使いやすい。リスト(アドレス帳)に各人のPHS番号や携帯電話の番号などを登録しておく、送信先を選択した時点で相手の機種が選択されるので、相手の環境を意識せずにメッセージを送ることができる。

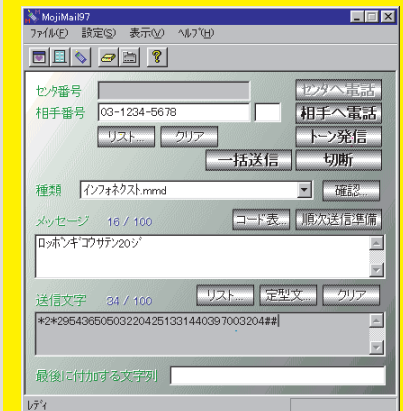


DATA

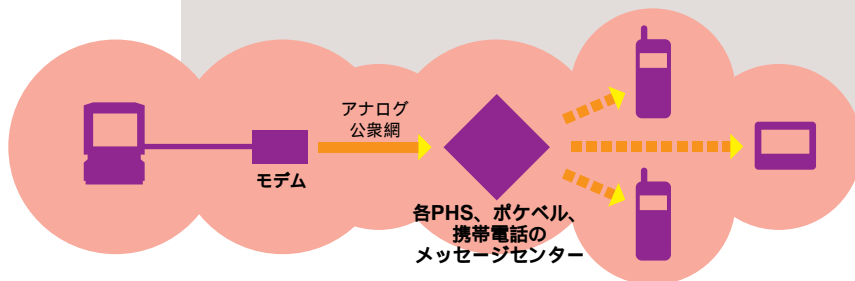
MojiMail97
 価格...シェアウェア1000円
 動作環境...ウィンドウズ95 / NT4.0、
 モデムが必要
 対応サービス
 ポケベル
 NTTドコモ、NTTドコモ、NEXT、
 NTTドコモ、インフォネクスト、東京
 テレメッセージ
 PHS・携帯電話
 きらメール (NTTパーソナル)
 モジトーク (ASTEL)
 ショートメール (NTTドコモ)
 問い合わせ... 0474-53-1655
 URL... <http://209.41.20.151/>

使ってみよう!

MojiMail97はシェアウェア(1000円)で、エキスパートマグネティックス(株)のウェブ(<http://209.41.20.151/>)からダウンロードすることができる。ファイルをダブルクリックするとインストールを開始するので、指示に従って進めていけばOKだ。インストール終了後、MojiMailを起動するとメッセージ送信画面が現れる。



「メッセージ」欄に入力した文字が、相手の機種(「種類」欄に表示)に合わせて自動変換され、「送信文字」欄に表示されている文字列をトーン信号で発信する。



電子メールが送れる！

FAX機に

(株)KDDコミュニケーションズ

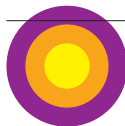
KCOMインターネット FAXサービス

FAXを送るのに、紙にいろいろ書くのは面倒だ。それを送るのにFAX機まで行くのはもっと面倒だ。そんな人にオススメなのが、この、メールをFAXとして送ってくれるサービスだ。FAXモデムと違って、電話をかけるわけではないから、遠方へ送る場合でも安上がりで、通常のFAXではできない同報送信も簡単だ。



DATA

KCOM インターネットFAX サービス
 サービス料金... 契約料 2000 円、月額基本料 2000 円 (KCOM 加入者は 1000 円)
 1 ページの料金... 米国・カナダ 50 円、日本・イギリス 80 円、シンガポール・香港・台湾 100 円など
 使用できるクレジットカード... UC、AMEX、ダイナース、DC、JCB、NICOS、VISA、MASTER
 添付可能ファイル
 Win... ウィンドウズ: エクセル 6.0/7.0 とワード 6.0/7.0
 Mac... エクセル 4.0/5.0 とワード 5.0/6.0
 問い合わせ... 0120-03-8844
 URL... <http://w3.kcom.ne.jp/>



インターネットと電子メールで安価にFAXを!

パソコンはないけどFAXなら持っているという人は多い。そんな人に向けてFAXをメール感覚で送れるのがこのサービスだ。「電話 (FAX) 番号 @ifax.kcom.ne.jp」へメールを送ると、FAXとしてその電話番号へ送られるのだ。もちろん複数の宛先を指定すれば同報送信となる。契約料と月額基本料の支払いが必要だが、遠方へ送る場合、特に海外宛の場合は割安となる。たとえばKDDで米国へ通常のFAXを送る場合、最初の1分は6秒ごとに21円なので、1ページに30秒かかるとすると合計105円ということになる。このサービスを使えば、米国宛て1ページは50円だ。ちなみに日本国内は80円と米国より高い。



添付ファイルもFAXで受信できる!

自分のファクス宛てに何度かメールを送信したところ、だいたい14分から6分ほどでFAXが届いた。ただしKCOMではその時間で届くことを保証しているわけではなく、メール送信後、FAX送信結果レポートがメールで届き、送信がうまくいったかどうか分かる。FAX番号もメールソフトのアドレスブックに登録しておくのはちょっと便利だ。メールとFAXを同報で送れるのも嬉しいのだが、メール中にパスワードを入れなくてはならないのでそれはできない。ワード文書を添付ファイルとして送ってみたところ、細い線が少しかすれる感じだが全体としてはきれいだった。ワードで作ったイラストもちゃんと出た。

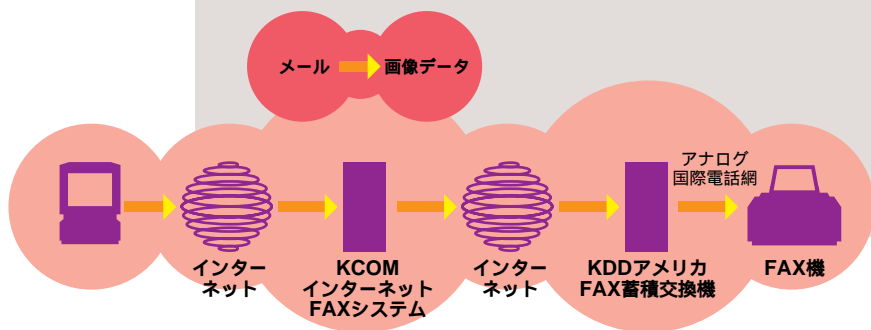
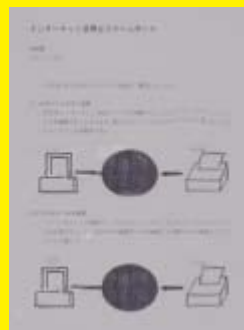
使ってみよう!

まずウェブ (<http://w3.kcom.ne.jp/serv/faxindex.html>) から申込書をプリントし、クレジットカード番号や自分のメールアドレスなど必要事項を記入してFAXする。1週間ほどでパスワードがもらえる。このサービスを使ってFAXを送るには、

81-3-1234-5678@ifax.kcom.ne.jp (03-1234-5678の場合)

というように、FAX番号の前に国番号 (日本は81) と市外局番 (先頭のゼロは省く) を付ける。同様にCcやBccも指定可能だ。

メールの1行目には "pw=xxxxxxx" の形式でパスワードを入れる。これはFAXとしては送信されないが、パスワードとメールアドレスをチェックして正規の利用者かどうかを確認するためだ。あとは通常のメールと同様に送信するだけだ。



送られてくるFAXを 電子メールで受信!

F@xE@il

技研商事インターナショナル(株)

与えられた自分のFAX番号宛でのFAXを電子メールで受け取ることができるサービスがF@xE@ilだ。FAXをTIFF画像にしてメールに添付して送ってくれるので、FAX機がなくてもコンピュータでFAXを受信できるのは魅力だ。

パソコンが 自分専用の FAX機に!?

「オフィスのフロアのはじっこまでFAXを取りに行くのが面倒」とか、「会社で彼女からのラブラブなFAXを受信したい」とか、そんな要望に応えてくれるのがコレだ。F@xE@ilを申し込むと自分専用のFAX番号がもらえる。この番号へFAXが送られてくると、それがTIFF形式の画像データに変換され、メールに添付されて自分のメールアドレスに届く。電話回線がなくても、インターネットに接続してさえいればFAXが受信できる。

F@xE@il用のFAX番号はダイヤルインで23回線まで同時に受信が可能なので、企業などで、サービスの申し込みやアンケート回収にFAXを利用する場合にも有効だ。与えられるFAX番号は今のところ03のみだが、1月中に札幌、名古屋、大阪でもサービスが開始される予定だ。

便利だけじゃない、 環境にもやさしいぞ!

FAXがメールで届くのはなかなか快適だ。席を立たなくてよいのも嬉しいし、ペラペラした紙が散乱しなくてすむのもいい。不要になったらデリートするだけ。ゴミも出ない。FAXの画像データはMIME Base64でエンコードされてメールに添付されてくる。データはTIFF形式なので、対応したアプリケーションが必要だ。ウィンドウズ95 OSR2以降では標準で入っている「Imaging」や、本誌CD-ROMに収録されている「ACDSee」、マッキントッシュでは「GraphicConverter」などが使える。TIFFファイルのサイズは送信側しだいずいぶん違ってくる。文字だけの文書ならA4サイズ1ページで数十Kバイトといったところだが、A4サイズのカタログをハーフトーンで送ったところ600Kバイト以上にもなった。不要な模様などは、できるだけ省いて送ったほうがいいようだ。



撮影協力: シャープ(株)

めざせ! 送り上手 FAX編

電子メールをFAX機で受信できるサービスには、他人とのコミュニケーション以外にも便利な使い方ががある。それはFAX機をプリンターとして利用する使い方だ。

出張にプリンターを持参して行く人はいないと思うが、出張中でもノートパソコンのデータをプリントアウトしたいと思うことはしばしばある。そんなとき、宿泊先のホテルなどのFAX番号を転送先に設定して電子メールを送れば、ホテルのFAX機をプリンターとして利用することができる。そればかりか、ホテルのFAX機を使えば、普段ならFAX機やプリンターまで歩いて取りに行っていた書類も、ボーイが部屋までそっと届けてくれるだろう。もちろん家庭用FAX機を簡易プリンターとして使うこともできる。

使ってみよう!

まず技研商事インターナショナルへ電話して契約書を郵送してもらおう。FAXを配信するメールアドレスなどの必要事項を記入して返送する。契約完了後、指定したアドレスへメールが配信される。その中に自分用のFAX番号が記載されているので、それを確認してメールを返送すれば手続きは終わり。

お元気ですか、
こちらは みんな元気です。
お仕事がんばってね。



DATA

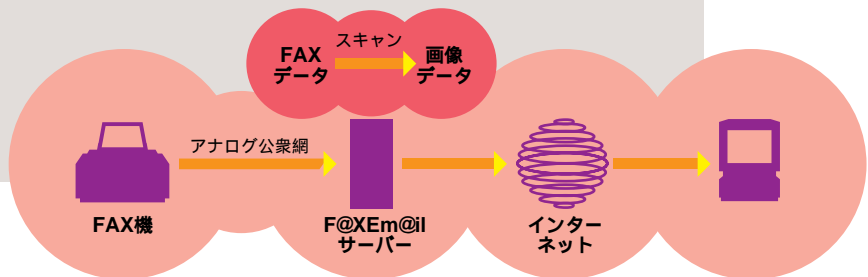
F@xE@il
サービス料金

個人会員...契約料3000円、月額基本料3000円、1000枚まで25円(1枚あたり)、2000枚まで23円、2001枚以上は21円

法人会員...契約料10人分20000円(11人からは1人追加ごとに2000円)、月額基本料2500円(1人につき)、5000枚まで25円(1枚あたり)、10000枚まで23円、50000枚までは21円、50001枚以上は19円

問い合わせ... 0120-548231

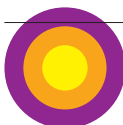
URL... <http://www.giken.co.jp/>



電子メールを 電話で聞こう！ もしもしメールサービス

NTT-TE 東京

電子メールを電話やファクスで取り出せる。電話で電子メールに返信を出すことも可能だ。携帯電話やPHSだけでインターネットを使いこなす、究極のモバイルだ。



普通の公衆電話で OK！

メールが連絡手段の中心になってくると、外出先からもメールをチェックしたい場合が出てくる。業務連絡が届いているかもしれないし、誰かからデートの誘いがきているかもしれないし…。そんな人にオススメなのが「もしもしメールサービス」だ。電話でメールを聞いたり、ファクスでメールを取り出したりできて、返信を送ることもできる。返信は、あらかじめ用意されている定型文を番号で選ぶか、音声サウンドファイルとしてメールに添付して送る。電話はプッシュボタンが発信できさえすれば携帯電話やPHSでもOK。つまり歩きながらでもメールが聞けるというわけだ。

サービス対象となるメールアドレスは、サービスの申し込み時に新たにもらえるメールアドレスでもいいし、別のプロバイダーのメールアドレスでもかまわない。メールを聞くだけならメールサーバーから削除されないのだから、会社や家に戻ってからメールソフトでメールを受信することもできる。

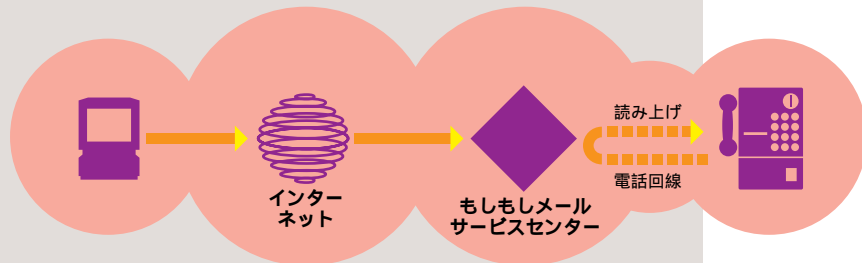
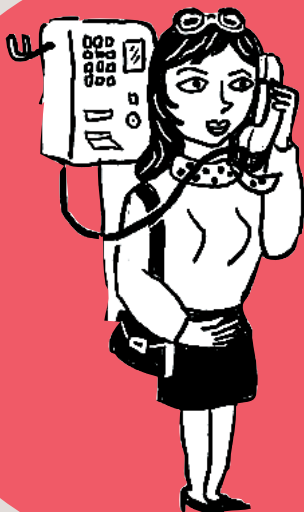


電話の音が メールになる！

メールの読み上げは、ところどころイントネーションがおかしいものの、充分聞き取れる。だが+ = × ~などの記号は飛ばしてしまうので、意味が取れない場合もあるだろう。そんなときはFAXから電話をかけ、メールの内容をファクスで取り出す方法が有効だ。FAXは10ポイントほどの小さな文字で出てくるが、ゴシッ

ク書体でくっきりとしていて読みやすい。

返信を音声で送る場合は30秒まで録音できる。試したところ30秒で445Kバイトの添付ファイルが送られた。WAVE (PCM) ファイルなのでウィンドウズのサウンドレコーダーやマッキントッシュのムービープレーヤーで再生できる。



めざせ！ 送り上手 電話編

電子メールの電話読み上げサービスを利用するにあたっては、メッセージを作成する送信側にもいくつかの注意点がある。

まず、本文中にあるテキストはすべて読むことになるので、不必要に長い署名は入れないほうがいいだろう。英文の署名を使っている人は、自分の名前や所属を日本語で書いておく程度でもいい。相手が電話でメッセージを聞くことがあらかじめ分かっている場合には、相手に配慮した「ここからは重要なのでメモを用意してください」などのメッセージを入れるのが親切だ。

この種のサービスは、相手がいつ読み出すのかが分からないので、急用を伝えるのには向かない。利用するときは、受信者の都合を優先したサービスだということを頭に入れておいたほうがいい。



どこにでもある公衆電話でメールのチェックができる

使ってみよう！

申し込みはウェブ (<http://www.mmmail.ne.jp/>) へ。1週間ほどで契約申込書が郵送されてくる。それにクレジットカード番号などを記入して返送。それからまた1週間ほどして手続き完了。全体で2週間くらいかかることになる。

メールを聞くときは、東京、大阪、福岡の3か所にあるアクセスポイントのいずれかに電話し、音声ガイドに従ってプッシュボタンで会員番号、暗証番号を入力。メニューからメールの読み上げを指定すると発信者、題名、発信時刻、本文を読み上げてくれる。FAXでの取り出しや返信操作などもすべてプッシュボタンで指示する。

ホームページの設定により、メールにフィルターを設定したり、指定したホームページを読み上げたりもできる。ニュースサイトを指定しておけば、電話で最新ニュースを読み出すこともできるわけだ。

DATA

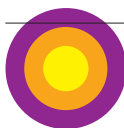
もしもしメールサービス
サービス料金... 入会金 3,000 円
(97年12月31日までは入会無料)、基本料金なし、サービス利用10円(1回ごと)
使用できるクレジットカード... JCB、VISA、MASTER
アクセスポイント... 東京、大阪、福岡の3か所
問い合わせ... 0120-233-713
URL... <http://www.mmmail.ne.jp>

無料の電子メール 読み上げサービス

Anet

(株)朝日広告社 (Anet事務局) NTT

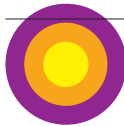
モバイル環境を作るお金はないけれど、外でメールのチェックがしたい！ 電子メールの読み上げや、メールアドレスの配布、他のアドレスやFAXへの転送ができる。しかもサービスはすべて無料。そんなサービスがこのAnetだ！



やっぱり タダはいいよね！

外出先でもメールがチェックできる安上がりな方法はないのかとお考えのあなたにピッタリのサービスがこれだ。メールアドレスが取得でき、そこへ届いたメールに対して、電話で聞く、FAXで取り出す、メールソフトや携帯情報端末で取り出す、指定のアドレスへ転送する、指定のFAXへ転送する、以上のことができる。しかもすべて無料だ(ただし、4月から有料化の予定)。その秘密は広告。転送されてきたメールとFAXには数行の広告文(各種企業の製品情報やサービス案内)がメッセージの前後に挿入されているのだ。

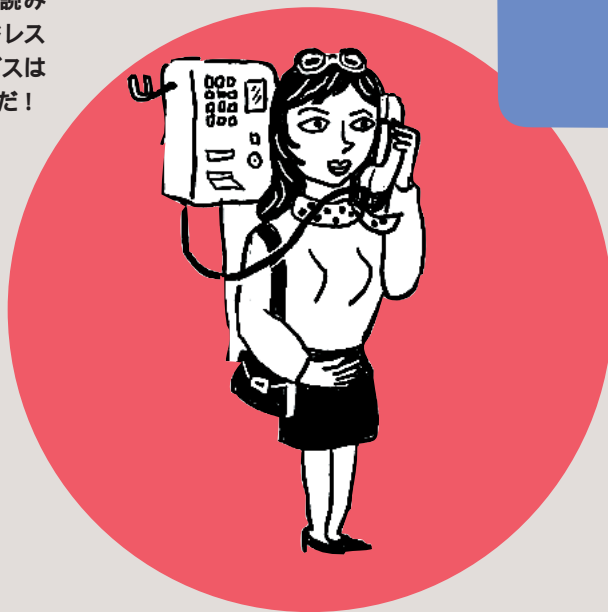
ただしメールアドレスをくれるとはいっても、プロバイダーではないのでダイヤルアップ用のアクセスポイントを用意してくれるわけではない。インターネットにアクセスでき、すでにメールアドレスなども取得している必要がある。



英語はちょっと 苦手なの...

メールの読み上げサービスを利用して見た。このほかのサービスはメッセージに広告が付けられるが、メールを読み上げる場合は広告は付かないのでいい。イントネーションはちょっと妙だが、問題なく聞き取れる。記号は無視される。和文にGoやLookなどの単語が交じる程度なら英語として読んでくれるが、英単語が続くと「英文なので読めません」と言って飛ばされる。正確に内容を知りたいときはFAXで取り出すか、メールサーバーからメールをメールソフトで受信するほうがいいだろう。

無料なので、とりあえず出張時の連絡用などにメールアドレスを1つもらっておくのもいいかもしれない。出張時はそのアドレスにメールを入れてもらえば、いつでも電話やFAXでメッセージが取り出せるというわけだ。

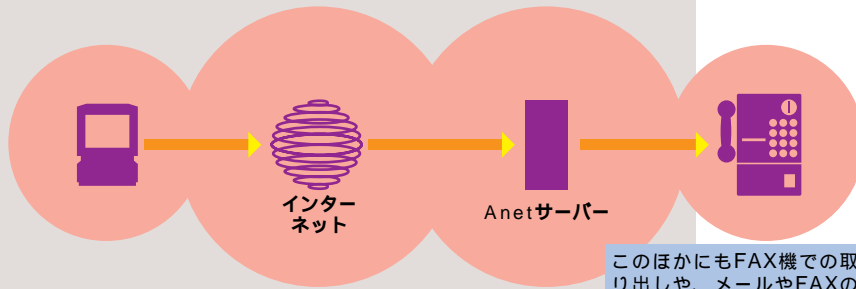


DATA

サービス料金...無料(電話での読み上げとファクスでの取り出しは4月以降に有料化の予定)

サービス内容...メール取り出し(電話読み上げ、ファクス受信、携帯端末やメールソフトでの取り出し)メール転送(指定のアドレス、指定のファクスへ転送)

電話とFAXでの取り出し用アクセスポイントは東京と大阪の2か所
問い合わせ...06-221-0072
URL...<http://www.anet.ne.jp/>



このほかにもFAX機での取り出しや、メールやFAXの転送サービスがある(メッセージには広告が挿入される)。

使ってみよう！

申し込みはウェブ(<http://www.anet.ne.jp/>)から行う。このとき、好きな名前@anet.ne.jpというメールアドレスを申請するのだが、メールアドレスは早い者勝ちのうえ、すでに3万人以上の会員がいるのでありがたいなものはだいたい先客がいる。申し込んだ時点でチェックされるので、空いている名前が見つかるまで何度でもトライできる。ウェブでの入力が終わると、すぐに登録完了のメールが届く。これで別アドレスやFAXへの転送機能が利用できる。転送

先はいつでもウェブで変更可能だ。電話での読み上げやFAXでの取り出し(転送ではなくそのときかけている回線のファクスでの受信)を利用するには、さらに別ページ(<http://www2.anet.ne.jp/Auditex.html>)での申し込みが必要だ。こっこの登録は数日かかる場合がある。サービスを利用するときは、東京と大阪にあるアクセスポイントのうち登録時に選択したほうに電話をかけ、音声の指示に従ってプッシュボタンを操作する。これでメールを読み上げたりFAXで受信したりすることができる。

ウェブから郵便が送れる! ハイブリッドメールサービス

(財)ポータルサービスセンター

ホームページから封書が出せる便利なサービスがこれ。クレジットカードによる決済だから支払いも簡単。すべてデスクトップで済むので出不精・筆不精の人にうってつけた。

DATA

ハイブリッドメールサービス
サービス料金... 110円(用紙1枚) 120円(2枚)
郵送可能用紙... A4用紙最大2枚まで
字数... 1枚が39文字×43行以内(2枚目は61行まで)
使用できるクレジットカード... JCB、VISA、MASTER
宛先は10か所まで指定可能。半角カナは使用不可
問い合わせ... 03-5720-2221
URL... http://www.furusato-tayori.or.jp/cgi-bin/h-mail/h_menu.chi/

封筒や切手を買わずに手紙が出せる!

田舎の両親や遠くの友達に手紙を出したいけど、手元に便せんはないし、封筒もない。切手はいくらだっけ? 郵便ポストは遠いし...、あぁめんどくさー!!! と、そんな経験をお持ちの方にオススメしたいのがハイブリッドメールサービスだ。

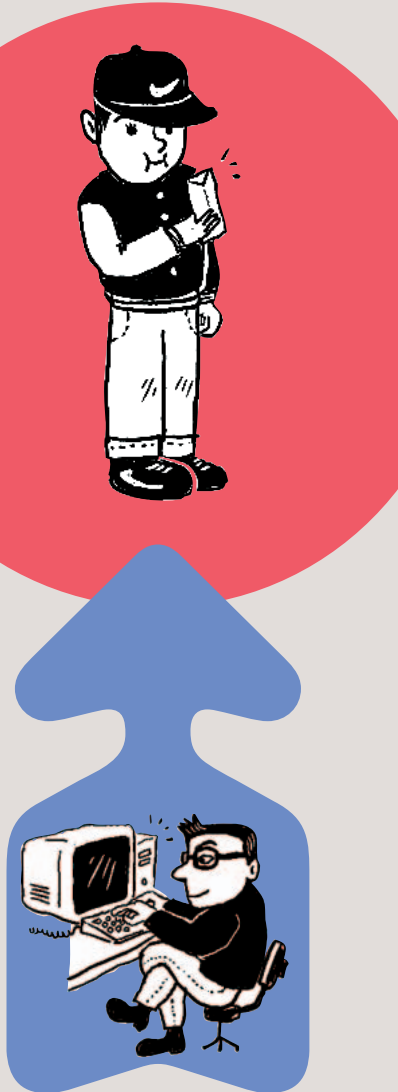
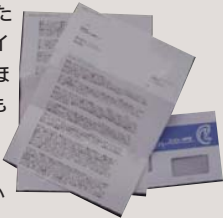
このサービスは、サービスセンターのホームページで文章を入力すればそれが封書になって宛先に郵送されるというもの。受け付けは24時間、年中無休(システム保守時間である平日朝8~9時を除く)だから、思い立ったときにすぐ「手紙が出せる」。電子メールの同報送信のように一度に10か所まで同じ内容の封書を送ることもできる。

支払いはクレジットカード(JCB、VISA、MASTER)で、申し込みから支払いまでがすべてコンピュータの前で済んでしまうこの楽チンさは魅力だ。

24時間受け付けで送信は1日2回

深夜2時にウェブにアクセスし、送信手続きを行ったところ、翌々日には封書が宛先に届いた(宛先は都内)。申し込んだ手紙は9時と15時に日本橋郵便局に送信されるので、夜のうちに申し込んでおけば、朝イチでポストに投函したのと同じことになるわけだ。

封筒は白地に水色の帯が入った横型のもの。便せんは白いA4サイズの用紙で、文字は12ポイントほどのゴシックフォントだ。いかにも「レーザープリンターで印刷しました」という感じがするが、文字が大きく読みやすいことは確か



使ってみよう!

初めての場合は、まず利用者登録を行う。これは一度行えば次からは必要ない。http://www.furusato-tayori.or.jp/cgi-bin/h-mail/h_menu.cgiにアクセスし、「封書郵便サービス」の中の「利用者登録」をクリックし、画面の指示に従って住所や氏名などを入力する。最後に利用者番号とパスワードが表示されるので、メモしておこう。次に画面で指示された受付電話番号へブッシュフォンで電話して、さっきメモった利用者番号とパスワードをブッシュ入力し、クレジットカードの番号と有効期限を登録する。これで利用者登録は完了だ。すぐにサービスが利用できる。

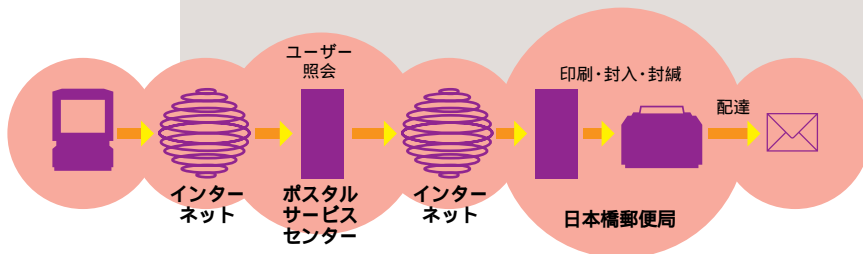
サービス利用時も前記のホームページにアクセス。「封書郵便サービス」をクリックし、利用者番号とパスワードを入力すると、封書の作成画面が表示される。本文と宛先を入力し、「送信」をクリックすると手続きは完了だ。

本文は1行39文字(全角)以内で改行する必要があるので、あらかじめエディターなどで整形して用意しておくのがよいだろう。また、43行を超える分は2ページ目に入力しなくてはならないので、安く上げるなら43行以内に収めるのがポイントだ。

めざせ! 送り上手 郵便編

インターネットから郵便が送れるハイブリッドメールサービスは、SOHOなどの小規模オフィスで利用するのも便利だ。このサービスは、郵便物にかかる切手代や封筒、便箋の料金をクレジットカードで決済できるので、頻りに封書を送る場合には領収書の処理が必要なくなり、クレジットカードの引き落としで完了だ。10か所まで同じ内容を送れるので、業務案内などをリリースするのも手間がかからない。電子メールで送れる相手には電子メールで、電子メールを受け取れない相手には封書で、といった使い分けもこのサービスなら楽にできる。

また個人でも、郵便料金がクレジットカード引き落としになることで、カードのショッピングポイントを集めている人にとってはこのサービスの利用価値は高いだろう。

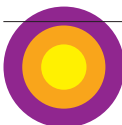


電報がウェブから送れる!

D-MAIL

NTT

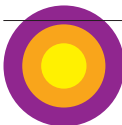
従来115番で申し込んでいた電報がインターネットからも申し込めるようになった。ホームページで台紙やメッセージが指定できるから手続きも簡単。支払いはクレジットカードで決済OKだ。



操作も簡単だから 初めての人も安心!

明日は恋人の誕生日なのに出張命令が…。そんなときはD-MAILでメロディー付き電報を送ってみてはどうだろう。これは115番に電話して申し込む従来の電報をホームページでも申し込めるようにしたサービスだ。24時間受け付けているので(115番は朝8時から夜10時まで)、夜のうちに明日の電報を申し込んでおくことができる。午後7時までの申し込みなら、その日のうちに配達してもらうこともできる。ホームページでは、台紙の選択やメッセージの作成が画面上でできるので、電話で申し込むのに比べて分かりやすい。

ホームページで申し込んだら、指定のフリーダイヤルに1時間以内に電話し、クレジットカード番号などをプッシュ信号で知らせる。以上で手続き完了。手間がかかると思われがちな電報を、身近なものにしてくれる便利なサービスだ。



一目瞭然! 画面で台紙が選べる

D-MAILのホームページはとても分かりやすく作られているので、初めての人でも戸惑うことはないだろう。画面の指示に従ってワンステップずつ操作していけば電報が申し込める。台紙はおし花付き、刺繍付き、メロディー付きなどがあり、画面上で「目で見て」選べる。115番で申し込む場合はこうはいかない。冠婚葬祭の

場にふさわしいメッセージは慣れないとなかなか書けないものだが、D-MAILではメッセージ入力画面のところでおすすめの例文がいくつか用意されているから安心だ。

電話でクレジットカード番号を入力するのはちょっと面倒だ。会員になれば電話でクレジットカード番号を入力する手間が不要になるのだが、現在は手続きに1週間ほどかかる。入会金や月会費などは不要だから、いざという時のために会員になっておくのもいいだろう。



DATA

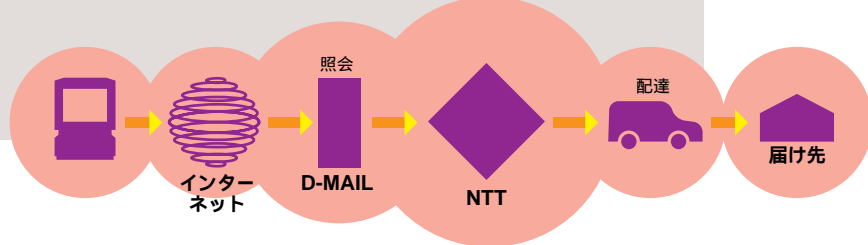
D-MAIL
サービス料金
慶弔電報... 25文字まで660円
(以降5文字ごとに90円)
一般電報... 25文字まで440円
(以降5文字ごとに60円)
使用できる文字... 全角文字はJIS第1水準、第2水準。外字は使用不可
使用できるクレジットカード... VISA、MASTER、JCB、UC、MC、DC、NTT Group VISA Card、AMEX、ダイナース
フラワー電報は申し込めない。
問い合わせ... 0120-699115
URL... <http://denpo.isp.ntt.co.jp/>

使ってみよう!

ウェブ (<http://denpo.isp.ntt.co.jp/>) で「電報を送る」をクリックすると申し込み画面に入る。誕生日、婚約、結婚、出産など多数の選択肢から該当するシチュエーションを選べると、それに合った台紙が数種類表示される。台紙を選べると、メッセージ入力画面へ。その場でメッセージを入力してもいいし、画面に用意されているお薦めのメッセージを使ってもいい。次は届け先の住所、氏名の指定。最後に、申し込み内容全体と料金が表示される。「送信」ボタンをクリックすると、仮受け付け番号と電話番号が表示されるので、これをメモする。電話して仮受け付け番号やクレジットカード番号を入力すれば操作は終了だ。

めざせ! 送り上手 電報編

親しい友人の結婚式などに、ありきたりの電報を送るのも面白くない。やはり相手によっては、プライベートな内容の電報も送ってみたいものだ。しかし、従来のオペレーターにメッセージの内容を話す送り方では、ちょっとした冗談や内輪ネタの話題などを電報で送ることが何となく恥ずかしくてためらわれてしまわないだろうか。でも、せっかくインターネットで送れるんだから、じっくりと考えて、思わず吹き出してしまう内容のメッセージなども電報で送ってみてはどうだろう。また、受け付け時間が24時間(午後7時までの受け付け分はその日中に配達)なのも嬉しい。送りたいときの気持ちを、メール感覚そのまま電報として送信できる。これなら受け取った人の印象に残るはずだ。



届かなければ 受け取れなければ 意味がない!!

「どう使うか」が 大切

これまで紹介してきたインターネットからメッセージを送れるサービスだが、PHSやポケットベル、FAX、手紙や電報など、メディアごとにそれぞれ特徴は異なる。これらのサービスを賢く使うには、各メディアの特性を理解する必要がある。

PHSや携帯電話は、通信エリアや細かい機能は異なるものの、自らが電話機として音声メッセージを発信する機能を持っているため、受信したメッセージに対して電話としてすぐに反応することができるクイックレスポンスなメディアだといえる。きゅらメールなどで返答先電話番号を送信することができるもの、一方向通信にとどまらないこれらのサービスの狙いだろう。

ポケットベルは受信専用端末なので発信はできないが、受信したメッセージが「すぐに」確認できるのは魅力だ。最近では、ニュース速報や天気予報などをポッ

トベルに配信するサービスもあるが、ポケットベルのプッシュメディアとしての特徴を活かしたサービスと言えるだろう。送る側にとって、「とりあえずすぐに見てくれる」ポケットベルの利用価値は高い。

FAXは、情報が紙として残るということがポイントだ。音声情報やデジタルデータを保存するには録音などの処理が必要だが、FAXは送られてきた情報がそのままプリントされるので、メッセージの確認も容易だ。メッセージに限らず何かの情報を多くの人に知らせるには、やはりプリントアウトされた紙の有用性は高い。

手紙や電報は、人間が直接運ぶことによって、どこにでも必ず届けられることが最大の利点だろう。ダイレクトメールなどの一方的な押し付けも可能だが、正しく送られた手紙や電報は、受け取り人の意志にかかわらず、仮に時間がかかっても必ず届けられる。

究極のモバイルには 何を 使うべきか?!

ノートパソコン 所有者には 必要ないか?

ノートパソコンと携帯電話（やPHS）があれば、電子メールの送受信はどこにいてもできる。インターネットでのメッセージのやり取りに限って言えば、モバイル環境があれば事足りることが多いだろう。しかし、これまで紹介してきたサービスは、現在使っているPHSやFAX機などを使って利用できるものがほとんどなので、新たにハードウェアなどを購入することなくサービス料金だけで利用できる。それぞれのサービスは特徴や用途が異なるので、どれか1つのサービスに決めるのではなく、自分に役立つと思うものはいくつでも導入を考えてみるのがいいかもしれない。ハードウェアなどの購入コストがかからず、サービス料金もさほど高額ではないとなれば、あとは本人が便利だと感じるかどうかにかかってくる。今回は、無料のサービスや無料体験ができるサービスも紹介しているので、興味があるならば百聞は一見にしかず、とりあえず使ってみてはいかがだろうか。

たかがメッセージ されどメッセージ

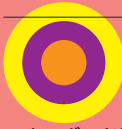


コミュニティー カルチャーの理解が コミュニケーションの近道



電子メールの常識は通じるか

電子メールを送るとき、「拝啓 時下ご清栄のこととお慶び申し上げます…」などと書き始める人はいないだろう。一般的に電子メールの世界では、時候のあいさつや季語などは必要なく、必要なことだけ簡潔に伝えるのが望ましいとされている。しかし、インターネット以外の相手にメッセージを送るときには、相手がインターネットではないということに注意が必要だ。自分は電子メールと同じ感覚でキーボードを打ってメッセージを作成していても、それは電子メールではなく手紙として届けられ、インターネットで送ろうが手で書こうが、受け取った相手にとっては、それは手紙であり、そこには先に述べたような電子メールの世界の常識は通じない。



相手のコミュニティーを理解

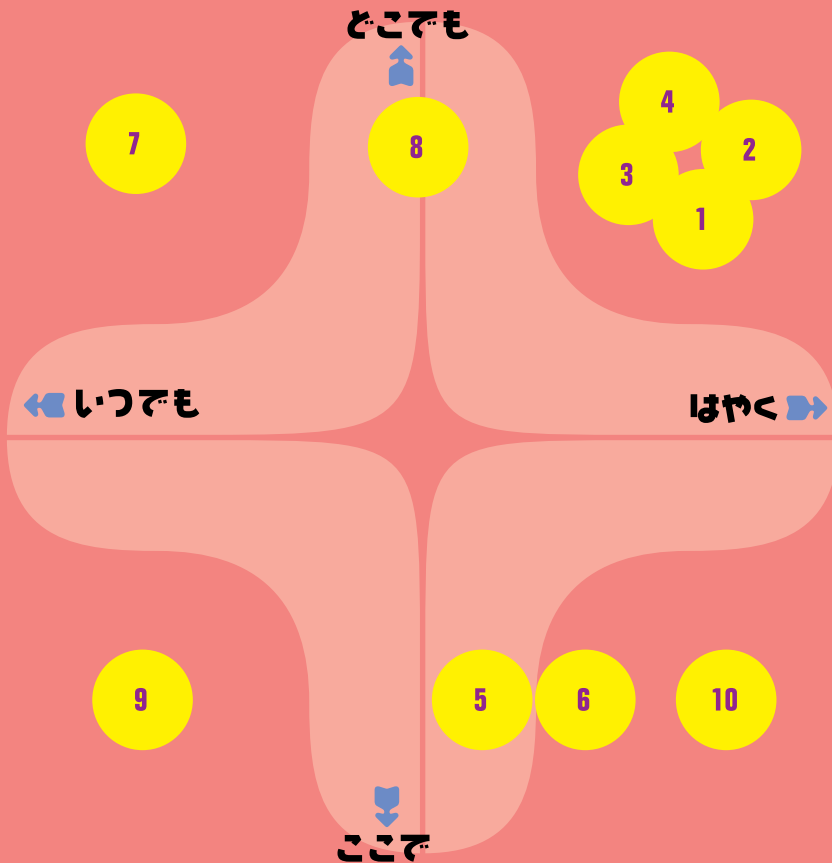
キーボードばかり打っている人でも、手紙を書くときには手紙のルールで書きたいものだ。時候のあいさつはもちろん、頭語や結語なども正しく使ったメッセージを送りたい。そのためには、他のコミュニティーの常識や慣習を理解することが必要だ。このようなときに役立つのが、数多くあるメッセージの文書作成の解説本だ。郵便や電報における常識はもちろん、さまざまなケースにおけるメッセージの文例や語法についても解説がされている。

インターネットによってコミュニティー同士がつながった今、これまで紹介してきたサービスを上手に使うには、電子メール以外のコミュニケーションの方法について理解しておくのがいいだろう。



サービス特性チェックグラフ

今回紹介したサービスの特性がひと目で分かるよう、時間（すぐ届くか、いつでも届けられるか）と場所（どこでもか、決まった場所か）の軸でグラフ化した。



グラフの見方

きゃらメール (232 ページ)
インフォネクスト (233 ページ)
VirtualPager (234 ページ)
MojiMail97 (235 ページ)
KCOM インターネット Fax サービス (236 ページ)

F@xEm@il (237 ページ)
もしもしメールサービス (238 ページ)
Anet (239 ページ)
ハイブリッドメールサービス (240 ページ)
D-MAIL (241 ページ)
の各サービスを時間と場所の軸で表示した。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp